

伊勢やまだ地方創生 まちづくりゼミ

メンバー数：7名 活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢やまだ大学サークル
やまだみらいLab
担当教員：千田 良仁（現代日本社会学部）
活動年度：R1

- ・イベント開催①
- ・提案、打ち合わせ開始（企業向け⑤
JA、行政）
- ・各種調整①
- ・提案書作成（プレゼン用）⑤
- ・協力団体との打ち合わせ①
- ・打合せ②
- ・委員会の会議へ参加④
- ・リサーチ提案書作成⑤
- ・レク内容決定、アポイントメント①
- ・今後の活動計画②
- ・SNS活動開始④
- ・プレゼン発表より深くいちこに
つづける分析、伊勢市の生産い
ちこの収穫量⑤
- ・計画見直し①
- ・打合せ②
- ・分析したものを作成⑤
- ・企画書作成、スタッフ募集①
- ・伊勢やまだ大学の会議へ参加②
- ・いちこの農家数や売上数などの
分析に入る⑤
- ・「てらこや横丁」企画①
- ・フィールドワークの振り返り②
- ・厚生すみかさんの会議への参加③
- ・伊勢の商店街を調べる（伊勢市
の中心市街地の特性を把握）⑤
- ・フィールドワーク①
- ・フィールドワーク②
- ・厚生すみかさんとの面談③
- ・伊勢市のいちこについて調べる⑤
- ・近鉄不動産とミーティング①
- ・打ち合わせ②
- ・伊勢市の有名な果物を探す作業⑤
- ・構想①
- ・どんな活動をしたのか調査⑤
- ・データ収集①
- ・空き家調査、空き家マップの完成③
- ・構想①
- ・空き家調査（2月より継続）③

- ・宇治山田駅①
- ・伊勢やまだ大学②
- ・空き家③
- ・浦之橋商店街④
- ・イチゴ⑤

2019 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

◇伊勢やまだ地方創生まちづくりゼミでは、1名～2名のグループに分かれ、各個人で興味のあるプロジェクトを進めています。

◇現在は5つのプロジェクトチームが市内で活動しています！

①宇治山田駅周辺活性化プロジェクト

皇学館大学生が多く使う宇治山田駅周辺を盛り上げたいという思いから、まずは宇治山田横丁に目を付けて活動開始。今年度は、一言で表すなら「**試行錯誤の年**」だった。まず、ビジョンを定めることに時間を費やした。ビジョンの早期実現も難しいことが分かり方向転換を迫られた時期もあった。だが、それが「てらこや横丁」というイベントを企画することにつながったので、結果的には良かった。

0から1を生み出すことは難しいと実感した。

②伊勢やまだ大学連携プロジェクト

「**商店街に老若男女に憩いの場をつくる**」という目標を立て、伊勢市商店街連合会青年部が行う「伊勢やまだ大学」の運営委員会に参加し一年を通して様々な経験をした。

予想していた商店街とのギャップや現状を実際に確認した。初めて参加した会議では、商店街に関わる方々の熱意や思いを知った。また、まちゼミについての本を読むなど情報収集も行った。

③空き家と学生を繋ぐプロジェクト

伊勢市の課題として挙げられる空き家問題を皇学館大学の学生が入居することによって解決しようとした。その中で皇学館大学はCLL活動など地域活動が盛んであるが、市内に住む学生は少ない。そういった活動に興味がある学生が地域貢献をすることで家賃等を抑え互いにメリットのある関係を築けないかと思い活動を始めた。

皇学館大学の学生が住む地域の空き家を調査し、リスト化をした。また、厚生すみかの会議に参加させていただいた。



ゼミメンバー（欠席4人）



①子供クラブとの打ち合わせ↑



④商店街の皆さんとの会議



⑤伊勢市職員と打ち合わせ

④浦之橋商店街SNS委員会支援プロジェクト

昨年の11月からスタートしたまだまだ未熟なチームだ。**商店街と協力し組合員自身でSNSで情報を発信し明るい商店街を取り戻せるように僕たちがサポートしていきたい。**これからも商店街で行われるイベントや日常の商店街を積極的に発信していきたい。Instagramを活用して商店街各店の取材を行い基本情報とともにアップしている。

⑤伊勢市の苺の知名度UP！

『伊勢市の有名な果物は何だろう』と調べ始めたのが原点だ。苺が有名だと知りどのように広めていくのか、また、どのように販売していくのかをこの一年間で考察をした。プレゼンを行った際には、沢山の人が意見をもらうことができ、必要なこと、必要ではないことを見つけることが出来た。**今後は本格的に活動が始まるため気合を入れて頑張る。**